

目 的

当財団は「長生きを喜べる長寿社会の実現～生きがいのある高齢者を増やす～」を主課題として掲げ、その実現のために課題解決となる研究開発・社会実装を行い、政策提言に向けた助成事業「長生きを喜べる長寿社会実現研究支援」（本事業）をすすめています。本事業は主課題を実現するため、課題解決になる実用的な方法の研究開発から本格的な社会実装まで取り組める課題解決型のプロジェクトを採択し、支援します。

主課題

長生きを喜べる長寿社会の実現

～生きがいのある高齢者を増やす～

キーワード

- ①高齢者のQOL・生きがい・健康・活力のエンパワメント
- ②弱っても安心して生き生き過ごせるまちづくり
- ③認知機能が低下しても個人の尊厳を尊重した普段の生活における様々な意思決定支援
- ④高齢者にやさしいテクノロジー・デジタル技術の開発・実実装



事業運営 イメージ

本事業は多様な段階から開始するプロジェクトを支援するため、AからDの4つの分類を設けています。プロジェクトは毎年継続の審査があり、確実に社会実装し、持続可能な事業化を重視するとともに社会貢献、地域貢献となるプロジェクトを求めています。提案時には、AからDの分類の中でプロジェクトを開始する段階を選択してください。本事業は審査評価委員会が、審査・採択を行います。また、採択後は審査評価委員会からの助言等を通じ、プロジェクトを実施する皆様と伴走しながらプロジェクトの目標達成を目指します。

A 探索研究

課題解決方法のアイデアの実現性・実用化が可能かどうか検証を目的とする

年間上限1,000万円
最長2年間

B 実装研究

課題解決方法を実験的に実装・検証を進め、事業化の準備を目的とする

年間上限3,000万円
最長3年間

C 社会実装

事業を本格的に進め、持続可能な仕組みの確立を目的とする

年間上限3,000万円
(助成率は総事業費の3分の1まで)
最長3年間

D 展開

全国展開・新規事業創出につながることを目的とする

年間上限2,000万円
(助成率は総事業費の10分の1まで)
最長2年間

それぞれの分類で求める最低限の成果

課題解決方法の
試作版の完成

課題解決方法の
正式版の完成
外部資金の調達の実現

持続可能な事業の
仕組みの確立

全国展開・海外展開、
他社との協働による
新規事業の創出など

提案者の要件

提案者となるプロジェクトリーダーは、国内の団体（大学、民間企業、地方自治体、社団・財団法人、シンクタンク、NPO団体等）に所属して当該団体においてプロジェクトを実施する体制を組成してください。

スケジュール

公募要領公開 ▶ 令和6年5月初旬（予定）

提案書受付期間 ▶ 7月3日（水）～7月31日（水）

一次審査 ▶（書面審査）9月下旬

二次審査 ▶（プレゼンテーション審査）10月28日（月）

最終審査 ▶ 11月下旬

採択通知 ▶ 12月中旬（予定）

プロジェクト開始 ▶ 令和7年4月1日（予定）

審査評価委員会

委員長 駒村 康平 慶應義塾大学経済学部 教授

副委員長 飯島 勝矢 東京大学高齢社会総合研究機構 機構長
未来ビジョン研究センター教授

委員 秋下 雅弘 東京都健康長寿医療研究センター センター長

委員 阿久津靖子 一般社団法人日本次世代型先進高齢社会研究機構 代表理事

委員 佐藤 久恵 学校法人国際基督教大学 評議員

委員 鎌田 実 一般財団法人日本自動車研究所 所長

委員 近藤 克則 千葉大学予防医学センター 特任教授
医療経済研究機構 研究部長

委員 長谷川友紀 東邦大学医学部 教授

Dispatch of researchers to aging and health science-related international conferences

令和6年度「国際学会派遣事業」公募のご案内

目 的

本事業は、海外で開催される長寿科学関連国際学会に優れた研究成果をあげる若手研究者又は有望な研究を行っている若手研究者を研究発表のために派遣費用を助成し、長寿科学研究の国際貢献・国際交流に資することを目的とし、かつ我が国の研究の中核となる人材育成に寄与する。

対象国際学会等開催期間

令和6年9月 1日（日）～
令和7年3月31日（月）

申請受付期間（期間厳守・必着）

令和6年5月15日（水）～
令和6年6月30日（日）



本事業の公募要領や提案方法については財団ホームページでご確認ください。
また本事業に関する情報はメールマガジンにて順次配信します。
ぜひメールマガジンにご登録ください。



長寿科学振興財団

検索

